



第16回現地研修会の開催

はじめに

当機構の現地研修会は、賛助会員による道路等に関連する事業の現場見学を目的として、平成元年より継続して実施しています。今回は、名古屋で開催された「ITS 世界会議」、本年3月オープンした愛知万国博覧会建設現場、同じく建設途中の中部国際空港（セントレア）などの見学をメインに10月21日、22日に開催しました。

今回の研修会は、総勢45名の参加となりました。前日に台風が通過し、その影響が心配されましたが、当日は台風一過好天に恵まれ、順調に日程を消化することができました。

研修会行程は以下のとおりです。

〈1日目〉名古屋駅集合→ITS 世界会議・名古屋→中部国際空港（セントレア）→宿
 〈2日目〉宿→上郷S・A（スマート・インター）→トヨタ博物館→愛知高速交通（リニモ）→愛知万国博覧会建設現場→名古屋駅解散

ITS 世界会議・名古屋

ITS 世界会議・名古屋の詳細については、本紙5ページからの特集をご覧ください。本研修会では、近未来のITS 環境を疑似体験する「ITS World」を中心に見学しました。会場には、政府関係機関、大学、関係企業等か

ら多数の出展があり、平日にもかかわらず多くの入場者で賑わっていました。

中部国際空港（セントレア）

中部国際空港は愛称をセントレアといい、見学当時は旅客ターミナルの建物がほぼ完成しており、連絡橋の鉄道も試験運転を始めていました。空港に隣接する見学施設セントレア館で空港関係者の説明を受け、バスにより空港内を見学しました。

上郷サービスエリア（スマート・インター）

上郷サービスエリアでは、社会実験として運用が開始されたスマートインターチェンジとDSRC（狭域通信）を利用した車載器への情報提供サービス（情報シャワー）の検証実験を見学しました。

トヨタ博物館

トヨタ博物館には、世界と日本の自動車の歴史をそれぞれ代表する名車が展示されています。T型フォードからトヨタ・プリウスまで100台以上の自動車が年代ごとに展示され、見飽きることがありません。

愛知高速交通（リニモ）

愛知高速交通（愛称リニモ）は、愛知万博会場へのアクセスとして建設されている磁気浮上式リニアモーターカーです。見学当時はすでに試行運転が始められていました。車両基地で実際に車体を見学しながら説明を受けました。

愛知万国博覧会・長久手会場建設現場

愛知万博建設現場は、まさに建設最盛期、工事車両が頻繁に出入りしていました。はじめに新しい交通システムとして開発され、会場の移動手段となるIMTSを見学しました。最先端のIT技術等を活用し、大型低公害バス3台が連結器無しで電子的に編成を組み、自動運転による隊列走行をします。次に、会場をバスで一週し、ほぼ建ちあがっている各パビリオンを高台から展望しながら説明を受けました。海外からの見学者も多数見受けられ、気運の盛り上がりを感じられました。

（総務部総務課）

平成17年度国土交通省道路関係予算におけるITS 関連予算

1. 道路関係予算案全体概要

平成17年度の国土交通省道路関係予算（政府案）が決定しました。この予算概要をご紹介します。平成17年度予算も引き続き、「社会資本整備重点計画（平成15年～19年）」の方針に基づき、成果志向の道路行政マネジメントの実践を通して、より効率的に、透明性を高めながらメリハリの効いた施策を展開します。

新しい時代にふさわしいネットワークの構

築と道路空間の再生（道路ルネッサンス）をするため、具体的には優先度明示方式による重点投資や、責任裁量型補助金への改革等の既存制度の見直しを行い、ハードとソフトの両面の施策を駆使しながら、幅広い課題に対応した政策を重点的かつ効率的に進めます。

平成17年度の道路関係予算は、「道路行政の改革」、「円滑な移動の支援」、「安全で安心できる暮らしの確保」、「地域再生・都市再生の支援」、「地球環境と美しい景観の保全と創造」に分類されており、他の行政分野との連携も図りながら、既存の枠にとらわれない積

極的な取り組みを進めます。

2. ETCの利用促進・活用推進等

ITSに深い関係のETCについて紹介いたします。ETCの利用促進・活用推進等は、「道路行政改革」の『より「使える」ハイウェイ』の中で扱われており、ETCを活用し、多様で弾力的な料金施策を展開します。主な内容は以下のとおりです。

○平成19年度までの目標であるETCの利用率約70%（うち首都・阪神高速約85%）

を平成17年度までに前倒しで向上させ、料金所渋滞を概ね解消。

- ETCへの利用転換を促進する、ETC 車載器リース制度及びETC セットアップシステムの拡充整備を実施。〈国費（一般会計）56億円〉
- 平成16年度に実施した「SA・PAに接続するスマートICの社会実験」の結果を踏まえつつ、スマートICの本格導入。〈スマートICに係る社会実験の拡充〔新規〕〉

3. ITSの推進

「ITS関連の推進」は「円滑な移動の支援」の「国土・地域ネットワークの構築」に分類されており、その概要をご紹介します。移動・交通の質を向上し、スマートなモビリティ社会を実現するため、ITSを国家戦略として推進します。

- ITS推進（事業費712億円）

（1）2007年に新たなITSサービスを開始

2007年から一つのITS車載器で以下のサービスを開始するため、2005年2月より官民共同研究の実施、規格・仕様の策定を推進します。

- a) あらゆるゲートのスムーズな通過
- b) 場所やニーズに応じた地域ガイド
- c) タイムリーな安全走行支援情報
- 官民共同研究の実施、規格・仕様の策定

（2）歩行者等の自律的移動支援

歩行者等の快適な自律的移動を支援するため、関係機関と連携して、バリアフリー情報などの移動に必要な情報の携帯端末等への提供を推進します。

- 歩行者向けモバイル情報提供サービスの試行導入支援：神戸市

（3）情報基盤の構築等

情報提供による開かれた道路行政の推進、

災害時等における道路ネットワークの信頼性向上を図るため、情報基盤の構築を推進するとともに、地方自治体等との道路交通情報や災害情報等の共有化を推進します。また、民間による光ファイバネットワーク形成を支援するため、道路管理用光ファイバーの民間解放を推進します。

- ITS関連施設の整備
- 地方自治体等との光ファイバー相互接続による情報共有の推進

4. その他

この他にITSに関連するものとして「高速バスロケーションシステムの導入促進」、「駐車場システムの高度化」、「IT技術を活用した駐車場案内システムの普及促進」、「路上工事情報のリアルタイム化」等、情報システムを活用した施策があります。

（ITS統括研究部調査役、山口和範）

第44回理事会の開催

昨年11月26日、第44回理事会が開催され、以下のとおり議決されました。

1. 評議員の委嘱について

評議員の委嘱期間が、11月30日で満了となるので、今回改めて39名に委嘱しました。任期は2年間です。

2. 研究審議会委員の委嘱について

研究審議会委員の委嘱期間が、11月30日で満了となるので、今回改めて10名に委嘱しました。任期は2年間です。

3. 報告事項

平成16年度事業の実施状況及び第11回ITS世界会議（名古屋）の実施状況について報告しました。

理事会風景



役員交代

理事が交代しました。

三木修理事、杉岡浩理事 ————— 平成16年11月24日辞任
西川康範理事、久保博資理事 ————— 平成16年11月25日就任

平成17年度事業計画説明会・調査研究発表会・講演会のご案内

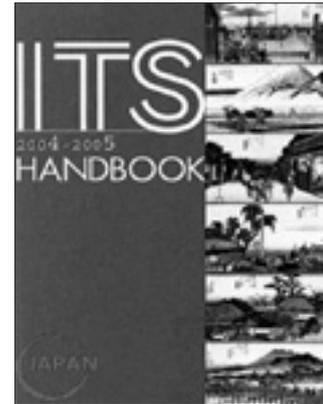
毎年6月に開催している事業計画説明会等につきまして、本年も次のとおり開催いたしますので、賛助会員のご参加をお待ちしています。

- 1. 日時 平成17年6月14日（火）10：30～15：30（予定）
- 2. 場所 ルポール麴町（東京都千代田区平河町2-4-3）

ITS HANDBOOK (2004~2005) 販売のご案内

ITSの最新の動向を豊富な図とデータにより分かりやすく解説しています。(和文・英文を併記)

■A4判 カラー印刷 99ページ ■定価 2,000円 (本体 1,905円)



問い合わせ先：総務部 鈴木・近藤
TEL 03-3545-6633 FAX 03-3545-6660
e-mail : handbook@hido.or.jp
ホームページ : <http://www.hido.or.jp/>

1 直接お越しの上購入される場合

財団法人 道路新産業開発機構

(〒104-0045 東京都中央区築地7-17-1 住友不動産築地ビル2階)で、お買い求めいただけます。
販売時間は9:00~12:00、13:00~17:30となっています。ただし、土・日・祭日等は除きます。

2 郵送で購入を希望される場合

下記指定口座にお振り込みいただければ、ご入金確認後お送りいたします。

振込先：東京三菱銀行本店 普通預金 7646149
財団法人道路新産業開発機構 (出版口)

なお、銀行振込手数料及び送料(宅配便で着払い扱いとさせていただきます)は、ご購入様側でご負担くださいますようお願い致します。

財団日誌 (平成17年3月~年6月)

月	財団(委員会等)	その他関係委員会等
3	第16回研究審議会(2日)	
4	第21回評議員会(14日)	
5	第45回理事会(18日)	第15回ITSアメリカ年次総会(2~5日)
6	平成17年度事業計画説明会・調査研究発表会・講演会(14日)	第6回ITSヨーロッパ年次総会(1~3日) IRF世界道路会議(16~20日)

編集後記

国内2度目の開催となった「第11回ITS世界会議愛知・名古屋2004」が、昨年10月18日から24日にかけて行われ、台風の襲来により1日行事が中止されたにもかかわらず、展示会場来場者が目標の5万人を大きく突破するなど、大成功のうちに終了しました。そこで今号では、この会議について特集しました。

まず、日本組織委員会事務局長の石 太郎氏に、会議の輝かしい成果について、おまとめいただき、宮地淳夫・国土交通省道路局ITS推進室長からもコメントを、また、会議に出展さ

れた当機構の賛助会員企業からも、ご報告をいただきました。

また、REPORT欄では「日本橋づくりアイデアコンペ」をはじめ、4本の活動レポートを掲載しました。INFORMATION欄では、主な活動や関連する行事等をご報告しています。山根一真氏の巻頭インタビューは、今回で終了です。興味深いお話を有り難うございました。

今号はコンペの優秀作品などを見やすくするため、カラーページを多くしビジュアルな誌面づくりを試みました。お楽しみ下さい。(S)

TRAFFIC & BUSINESS

季刊・道路新産業

WINTER 2005 No.77 (平成17年2月28日)

発行 財団法人 道路新産業開発機構
〒104-0045 東京都中央区築地7丁目17番1号
住友不動産築地ビル2階
TEL 03-3545-6633(代表)
FAX 03-3545-6660
ホームページ <http://www.hido.or.jp/>

編集発行人 斉藤隆司

編集協力 株式会社リーブル

印刷 有限会社セキグチ

★本誌掲載記事の無断複製をお断わりします。